

INTRODUCTION

パブロフの実験

[パブロフの実験]を知っていますか？パブロフ博士 (Ivan Pavlovich Pavlov 1849 ~ 1936. 旧ソ連の生理学者) は、犬にエサを与える時に必ずベルを鳴らすという実験をしました。ある一定期間これが続けた後に、エサを与えずにベルだけを鳴らしても、従来通り犬の口腔内に反射的に唾液が出ることを確認しました。これがいわゆる条件反射 (conditioned response [reflex]) です。

語学学習も原則的にこのパブロフの条件反射と変わりません。何度も何度も、音読・暗記という条件づけを行って、然るべき時にそれが当意即妙に口をついて出てくることこそが語学の条件反射なのです。大学生の英語学習においても基本的な文法構文を反射的に使えるようになることは「コミュニケーション」という言葉が重要視される現代でも変わることはありません。

考えてみれば、私たちが母国語を何不自由なく使えるのも膨大な条件づけを積み重ねた結果に他なりません。母国語習得と同じ原理を用いれば良いのです。ただし、限られた時間内に効果的に語学を身につけるには、無駄な努力を徹底的に排除せねばなりません。英語の条件反射を養成するためには、**徹底的に無駄を省いた最重要な構文を暗記することこそが何よりも大切**です。

英語の九九

覚えるべき基本的な英語構文の数は最小限で約 500 ～ 550 存在します。この約五百数十の英文は、例えて言えば「英語の九九」に相当します。日本人なら小学 3 年生以上の誰もが「サザンガ」と言われた瞬間に「キュー」という音^{おと}を想起します。「ハッパ」と言えば「ロクジューシ」と口をついて出てきます。これらの反射運動は思考を必要としません。次の 5 つの英文の意味がわかりますか。

- | | |
|---|-------|
| 1. I owe what I am today to my parents. | (224) |
| 2. There used to be a temple around here. | (70) |
| 3. I couldn't help laughing in spite of myself. | (178) |
| 4. It never rains but it pours. | (336) |
| 5. I kept silent lest I should disturb him. | (428) |

(□ は本編中で扱う構文の通し番号です)

これらの英文の太字部分のそれぞれが「英語の九九」です。さらに拡大して言えば、これらの英文そのものが「英語の九九」なのです。以下に和訳をつけておきますが、正答が 3 つ未満の人は危険信号がともっています。大至急本書で構文暗記をスタートすることをお勧めします。

1. 私が今日あるのは両親のおかげだ。
2. 昔このあたりにお寺があったものだ。
3. 私は思わず笑わないではいられなかった。
4. 降ればどしゃぶり（諺）。
5. 私は彼の邪魔をしないように黙っていた。

暗記は頭の良いやり方

「暗記は面倒だ」という人が多いのに驚きます。また、「暗記は頭の悪い人のやる作業だ」と断言する乱暴な人もいます。とんでもないことです。先程のかけ算の九九を考えてみましょう。ほんの一時期、集中して暗記作業をするエネルギーが必要ですがいったん記憶中枢の中に input されてしまえば永久に頭の中に残り、いつでもどこでも瞬時に引き出して使えるのです。output する際のエネルギーもゼロです。こんな便利な暗記を「頭の悪い人のやること」とどうして言えるのでしょうか。逆に、もしかけ算の九九を暗記しないで数学の計算をしてみると仮想してみましょう。簡単な 5×4 も、いちいちそのつど5を4回たし算しなければなりません。それだけのエネルギーの消耗は大変なものです。より高度な、本来問われている計算にまでたどりついた頃は時間切れとなり、思考力のロスも大変なものとなっているでしょう。「ゴシ 20」と瞬速の暗算ができるのは暗記のおかげですね。

以上でおわかりのように、暗記は実に頭の良い学習方法なのです。

音読による構文暗記は全ての始まり

言語の本質は音^{おと}です。はるか昔には文字は存在しませんでした。ことばは本来口からでた瞬間に空中に消えてゆく音なのです。従って英語の本質かつ理^{こと}に^{こと}な^{こと}った学習方法は、英文を音読して暗記することなのです。語学とは「初めに暗記あり」です。語学のスタート時点は音読・暗記に他なりません。長年語学教育に携^{たずさ}わってきた私が一言^{ひとこと}でその修得^{ごくい}の極意^{ナック} (knack) は何かと問われるとためらいなくこう言います。

「意味のわかった英文を
何度も言って
暗記する」

これしかありません。他に魔法^{まほう}の技^{わざ}はないのです。まして一夜にしてマスターできる万能薬 (panacea [pænəsi:ə]) などある訳がありません。徹底的に音読して覚えて下さい。また覚えた英文を紙に書いて目で確認することも大切です。意外と冠詞、数、時制などがいい加減に input されている傾向にあるからです。一言^{いちごん}一句^{いっく}正確に覚えなければ誤解が拡大再生産されますからかえって有害です。

「構文暗記は全ての始まり」です。全てとは英文法や英文読解などのあらゆる項目の基礎作りという意味です。構文をコツコツと覚える作業は単に構文力養成にとどまりません。英語のリスニングやスピーキングにもつながる総合戦力の獲得なのです。即効性もあります。

英文を英文のまま理解できるようになる

この構文暗記には、もうひとつ重要な効果があります。それは、英語の読解において威力を発揮することです。英語構文がしっかり脳裏に刻まれている人には、^{ぼうよう}茫洋たる英文の海の中を泳いで読解作業をしても重要構文はまるでその部分が^{スリー・ディー}3D（立体）文字のように浮き上がって見えるのです。

この本の1本1本の英文を丁寧に暗記してゆく過程で自分の中にあるひとつの重要な変化が生じつつあることに気づくでしょう。それは、**英文を英文のまま理解できるようになる**ことです。いわゆる直読直解力が養われるのです。これこそ「英語への開眼」^{かいげん}の瞬間なのです。今まで英文を文末から「解説」して訳し上げ、自分の書いた訳文を読んでから初めてその英文の内容を理解するという初歩的段階から一歩も出ることができなかった自分が英文を英文のまま肌で理解できるようになった瞬間。これは感動的な体験です。たゆまず暗記を続けてゆけば遅かれ早かれこのコペルニクスの回転は必ず訪れます。そうなればしめたものです。あとは加速度的に英語力が伸長してゆきまです。頭の中がネイティブになってゆく快感は体験した人でなければわかりません。

厳選に厳選を重ねた 542 本

本書のタイトル『大学生のための最重要構文 540』が示すとおり、最重要な英語構文を 542 本徹底的に厳選しました。安心して覚えて下さい。不必要な英文は 1 本もありません。

5 本を除くすべての英文は最も暗記しやすい 15 語以内に徹底的に吟味して作成しました。(一部は英文の自然さを守るために敢えて 16～17 語としてあります。)

目次を見てもらうとわかりますが、第 5 文型の項目があるのに、第 1～第 4 文型の項目はありません。これは学習者がつまづくポイントを徹底的に検討した結果、日本語を母国語とする日本人には、第 5 文型が理解しにくい上に、英語構文の心髄しんずいがこの文型にあるという理由いきよに依拠よしています。(もちろん第 1～第 4 文型で重要なものは他の項目もうらで網羅もうらされているので、取りこぼしの心配は一切無用です。)

また、否定、比較、関係詞、仮定法の項目に多くのページを割り、例文も豊富に揃えていることも、これらが英語学習をする人たちにとってわかりにくいポイントであるからに他なりません。「542 本に抑える」という大原則のために泣く泣くカットした英文も少なくありません。それだけに収録された英文はすべて一級ぞろいです。

Notes にも豊富な例文

Notes にはなるべく多くの **書換** 等の英文を用意しました。208 本あります。本文 542 本と合わせると 750 本となり、構文に関する限り本書はまさに必要にして十分な数を集録しています。本文の暗記が最優先ですが、可能な限り Notes の英文も覚えて下さい。

基本的な使い方

本書の利用方法を紹介します。まずは左のページの英文を見て、日本語で意味がとれるか確認しましょう。次に右ページの和文や Notes を参照して構文を理解し、何度も英文を音読して頭の中にたたきこみましょう。ある程度英文が定着したと感じたら、今度は右ページの和文から見て、頭の中で又は口頭で英作文をし、即座に左ページの英文を見て自分の弱点をチェックして英文を正確に暗唱します。

焦らないで暇を見つけてはコツコツと行ってください。「ウサギと亀」の亀の気分でやってください。5 分でも暇な時間があればとりかかりましょう。社会に出てから必要とされる英語力を身につけるには大学の授業時間だけではとても足りません。英語の学習に王道はありません。地道に基本的な英文を習得することで、自信をもって英語でコミュニケーションできるようになります。

添付の音声を使って「シャドーイング」を

本書に添付の CD を毎日聴いて英文を暗唱して下さい。ネイティブの発話のすぐ後について英文を読むシャドーイングを何度も繰り返すことにより、美しい発音の英文がやがて自然に口から出てくるようになります。大いに活用して下さい。

本書があなたの「英語開眼」の書となることを祈っています。

もくじ

INTRODUCTION	3
--------------	---

本編

1. It を主語にした構文	14
2. It を仮目的語にした構文	22
3. It is ~ that ... の強調構文	24
4. 第 5 文型を用いた文	26
5. There 構文	30
6. 受動態	34
7. 助動詞	36
8. 不定詞	44
9. 分詞	54
10. 動名詞	62
11. 関係詞	70
12. 比較	84
13. 否定	98
14. 条件・仮定	114
15. 譲歩	122
16. 接続詞	128

17. 強調	142
18. 倒置	144
19. 無生物主語	146
20. 同格	150
21. 挿入	152
22. 省略	152
23. 代名詞	154
24. 時制	158
25. 付帯状況の with	162
26. 疑問詞を含む構文	164
27. 命令文を含む構文	166
28. その他の重要構文	168
あとがき	172
INDEX	173

本書の表記上の注意

1. イタリック表記は、同品詞の他の語が入っても英文が成立可能という意味。

①例 Don't **leave** your work **undone**.
(*undone* → *unfinished* / *halfway finished* etc.)

2. () 内の語は省略可能という意味。

①例 **It is (of) no use trying** to argue with him.
(= It is no use trying ~.)

3. [] 内の語は代入語。差し換えてもほぼ同じ意味で使用可能。

①例 **I would rather [sooner] die than do it.**
(rather → sooner に代入可)

4. 脚注での「原形」とは「動詞の原形」の意。

①例 You had better not **drink** too much.
の **drink** は原形。

1 It を主語にした構文

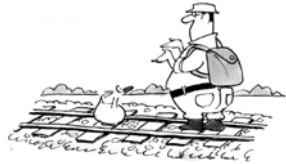


- 1. **It** is a long time since I saw you last.
- 2. **How far is it from** here **to** the station?
- 3. **It** will be dark by the time the police come here.
- 4. **It is very kind of you to** show me the way.
- 5. **It** is *necessary* **for** you **to** make the best use of your time.
- 6. **It is not too much to say that** this is the age of cars.
- 7. **It goes without saying that** health is above wealth.

Notes

1. 時の it。〔書換〕It's been a long time since I saw you last. 直訳「あなたに会って以来、長い時間になります」。2. 距離の it。この問いに対して It's about a mile on foot. 「徒歩で約 1 マイルです」と答えたりする。〔類例〕How **long** does it take to get there by train? 「そこまで列車で行くのにどのくらい時間が掛かりますか」。3. 明暗の it。by the time + 節で「～が…するまでに」。4～5. It は仮主語で、of [for] 以下が真主語。

1. 久しぶりですね。
2. ここから駅まではどのくらいありますか。
3. 警察がここに来るまでには暗くなっているだろう。
4. 道案内をして頂き、ありがとうございます。
5. 与えられた時間をできるだけ利用することが必要です。
6. 今は車の時代だと言っても過言ではない。
7. 健康が富に勝ることは言うまでもない。



of [for] ~ to は S + V 関係。述部に人の性格を示す形容詞 (kind, rude, etc.) が来れば of を、判断を示す形容詞 (necessary, important, etc.) が来れば for をそれぞれ置く。4. (書換) **Thank you so much for showing me the way.** 6. It ~ to 構文。(書換) **It is safe to say that this is the age of cars.** 7. It ~ that 構文。(書換) **It is needless to say that health is above wealth.**

- ☐ 8. **It is natural that** the company **should** be accused of causing air pollution.
- ☐ 9. **It may safely be said that** he is a genius.
- ☐ 10. **It is (of) no use** trying to argue with him.
- ☐ 11. **It will do you good to** have a holiday.
- ☐ 12. **It is often said that** a good way to lose weight is to stop eating sweets.
- ☐ 13. **It cost me** 50 dollars **to** have my watch fixed.
- ☐ 14. **It doesn't follow that** a man is great because he knows many things.
- ☐ 15. **It is no wonder that** he failed.
- ☐ 16. **It stands to reason that** you get punished when you break the law.

Notes

8. It ~ that 構文。should は「感情・判断の should」で、「当然である」という判断が示されている。(類例) **It is odd [strange] that he should say things like that.** 「彼がそんなことを言うとは変だ」。be accused of 「～のことで告訴される」。**10. It is (of) no use ~.** の of は略すことが多い。trying 以下が It に対する真主語 (☞ 523)。**11.** It ~ to 構文。do + 人 + good 「体に良い」(熟語)。**12.** It ~ that 構文。**13.** It ~ to 構文。

8. その会社が大气汚染で告訴されるのは当然である。
9. 彼は天才だと言っても差しつかえないだろう。
10. 彼と議論しようとしても無駄だ。
11. 休暇をとることは体に良いでしょう。
12. 減量する良い方法は甘い物を食べることをやめることだ、とよく言われている。
13. 時計を修理してもらうのに 50 ドルかかった。
14. 人は多くのことを知っているからといって偉いということにはならない。
15. 彼が失敗したのは少しも驚きではない。
16. 法律を犯したら罰を受けるというのは、もっともなことだ。



第4文型(S・V・O・O)で「人にとって金を要する」の用法。「私にとって」の me は省略可。p.18 の 18 と対比して覚えよう。14. (類例) If it is true, **it follows that** he is responsible for the accident. 「もしそれが本当なら、彼はその事故の責任があるということになる」。because 「～だからといって」。15. (書換) **No wonder (that)** he failed. 16. It ~ that 構文で、赤字部分は慣用表現。

- ☐ 17. **It is taken for granted that** students know how to express themselves.
- ☐ 18. **It took** him three years **to** write the novel.
- ☐ 19. **How long does it take** you **to** get here from your house by train?
- ☐ 20. **It is one thing to** acquire knowledge; **it is quite another to** apply it.
- ☐ 21. **It occurred to me that** I had left my bag on the train.
- ☐ 22. **It is worth while** reading the novel.
- ☐ 23. **It makes no difference to me whether** she lives in a city **or** in the country.
- ☐ 24. **It doesn't matter to me how** it is done so long as it is done.

Notes

17. (☞ 36) It ~ that 構文。18. (☞ 13) It は時の it。13 と同様、第 4 文型で「to 以下をすることは彼にとって 3 年を要した」の意。him は省略可。cost が金だけを目的語にするのに対し、take は時間・労力を目的語とする。(類例) It usually **takes** a lot of *time* and *energy* **to** master a foreign language. 「外国語をマスターするには普通多くの時間と労力が必要だ」。21. (書換) It **struck me** [**crossed my mind**] **that** ~ . も覚え

17. 学生が自分の考えたことを表現できるのは当然のことと考えられている。
18. 彼はその小説を書くのに3年かかった。
19. あなたの家からここまで来るのに電車でどのくらいかかりますか。
20. 知識を得るのと、その知識を用いるのとは全く別のことである。
21. 私は列車の中にカバンを忘れたことをふと思い出した。
22. その小説を読むことはそれだけの価値がある。
23. 彼女が都市に住んでいるか、それとも田舎に住んでいるかということは、私にはどうでも良いことだ。
24. それが行われさえすれば、どう行われるかは私にとってはどうでも良いことだ。



よう。22. (書換1) **It is worth while to** read the novel. while は time のことで「～するだけの時間に値する」が原義。(書換2) The novel **is worth reading.** (⇒ 181) これは主語の書換例。23～24 は関連表現。(書換) **It is all the same to me whether [how] ～.** 「～は私には同じことだ」。(類例) **It matters little to me whether [how] ～.** 「～は私にはあまり問題ではない」。

- ☐ 25. **It depends on** your own efforts **whether** you will succeed **or not**.
- ☐ 26. **It won't be long before** we *can enjoy* space travel.
- ☐ 27. I wonder **what it is like to** travel through space.
- ☐ 28. **It happened that** the train was delayed on account of snow.
- ☐ 29. **It seemed** obvious *to me* **that** the plan needed a few revisions.
- ☐ 30. Nothing is the matter with the car. **It's just that** you are a bad driver.

Notes

25. It ~ whether 構文。 **26.** won't [wount] = will not。時の it。「我々が宇宙旅行を楽しむまでには、長くはかかるまい」転じて「まもなく～だろう」。before 以下は副詞節だから、we'll be able to ~と未来形にしない。[副詞節内はで未来の内容でも、現在形又は現在完了形を使う]。(応用例) **It was [took] rather long before** he got used to life in America. 「彼が米国生活に慣れるまでにはかなり時間がかかった」。

25. 成功するか否かは、あなた自身の努力次第だ。
26. 宇宙旅行を楽しめる時がまもなくやってくるだろう。
27. 宇宙旅行するってどんなものだろう。
28. たまたまその列車は雪のために遅れた。
29. その計画は明らかに、いくつか検討すべき点があるように私には思えた。
30. 車には何の問題もない。ただ君の運転がまずいだけだよ。



27. it は仮主語で to 以下が真主語。(類例) Now I know what it is like to be poor. 「今では貧乏であることがどんなものかわかっています」。
28. (書換1) It so happened that ~. (書換2) The train happened to be delayed on account of snow. 30. It is just that ~. 「ただ~だけです」という慣用表現。Nothing is the matter [wrong] with ~. 「~は何の問題もない」も覚えたい表現。